

温室効果ガス研究の最前線

—パリ協定の目標達成に向けて—

2022 **10** **木**
2/ **10** **木**
13:30~15:00

地球温暖化の鍵となる、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素などの温室効果ガス。

観測やモデルによる最前線の研究から、温室効果ガス循環の現状や将来の予測を紹介し、パリ協定の1.5°C目標の達成に向けて何が必要か、考えます。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

開催
形態

Zoomウェビナーによるオンライン開催

言語

日本語(英語講演には同時通訳有り)

参加
方法

以下のURLからご登録後、参加用のZoomリンクが届きます。
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_oBaqYK-OQ6ao7u1giXcHMQ

申込
締切

2/9(水)まで

主催

国立環境研究所、グローバル・カーボン・プロジェクト(GCP)、フューチャーアース

協力

環境研究総合推進費SII-8

問い
合せ

国立環境研究所 地球システム領域 地球環境研究センター GCPつくば国際オフィス
<https://www.cger.nies.go.jp/gcp/> Email: gcp@nies.go.jp

参加無料



温室効果ガス研究の最前線 —パリ協定の目標達成に向けて—

出演

■ 講演者



Giles Sioen

フューチャーアース日本ハブ シニアオフィサー 国立環境研究所 特別研究員

**気候科学の一年を振り返って：
「10 New Insights」と本報告のアジアにおける重要性**



Prabir K. Patra

海洋研究開発機構 地球表層システム研究センター 物質循環・人間圏研究グループ グループリーダー代理

大気観測に基づいた主要な温室効果ガス3種の地域別収支見積もり



伊藤昭彦

国立環境研究所 地球システム領域 物質循環モデリング・解析研究室長

パリ協定・グローバルストックテイクに向けたGHG監視

温室効果ガス研究の最前線 —パリ協定の目標達成に向けて—

出演

■ 講演者



中岡慎一郎

国立環境研究所 地球システム領域 大気・海洋モニタリング推進室 主任研究員

地球を巡る二酸化炭素を追う ～Global Carbon Budget報告～



遠嶋康徳

国立環境研究所 地球システム領域 動態化学研究室長

**波照間島における大気観測に基づく
COVID-19からCOVID-19後の中国からのCO₂排出量の変化の推定**



羽島知洋

海洋研究開発機構 環境変動予測研究センター 地球システムモデル開発応用グループ グループリーダー代理

人為CO₂排出量に基づく温暖化予測：地球システムモデル

温室効果ガス研究の最前線 —パリ協定の目標達成に向けて—

出演

■ 開会挨拶



三枝信子
国立環境研究所 地球システム領域長

■ コメンテータ



江守正多
国立環境研究所 地球システム副領域長

■ モデレータ



白井知子
国立環境研究所 地球システム領域 地球環境データ統合解析推進室長/GCPつくば国際オフィス代表